

- [工事業者様用]
- このたびは、東芝パッケージエアコン用ワイヤレスリモコン受信部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
  - 取り付けの前に、この説明書をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。
  - この受信部と組合わせるワイヤレスリモコンは別売です。
  - 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に取扱説明書にそって使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン

ワイヤレスリモコン受信部（天井カセット形2方向吹出しタイプ）

取付説明書

形名 RBC-AXRU41UW(W)

安全上のご注意については、取扱説明書・室内ユニットの据付説明書・取扱説明書をご覧ください。

付属部品（次の部品が入っています。）

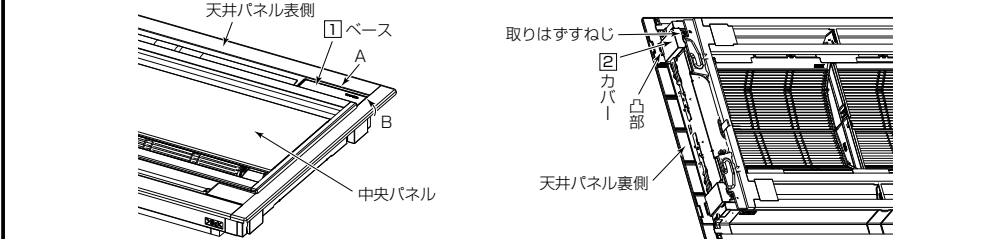
番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	受信部	1	②	取付説明書（本書）	1	③	取扱説明書	1

## 取付前の受信部の設定

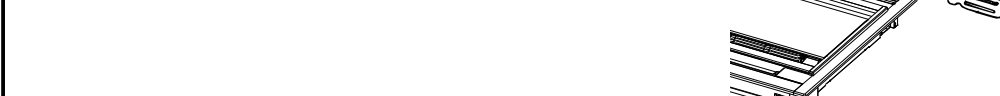
- 受信部取付前に各項目をご覧ください。設定を実施してください。
- ワイヤードリモコンと同時設置する場合 → ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定
  - 同じ室内に複数の受信部を設置する場合 → リモコンのA／B切替設定

## 受信部の取り付けかた

1. 受信部は天井パネル（別売品）の①ベースの位置に取り付けます。天井パネル裏側の②カバーのねじ1本をはずしてください。



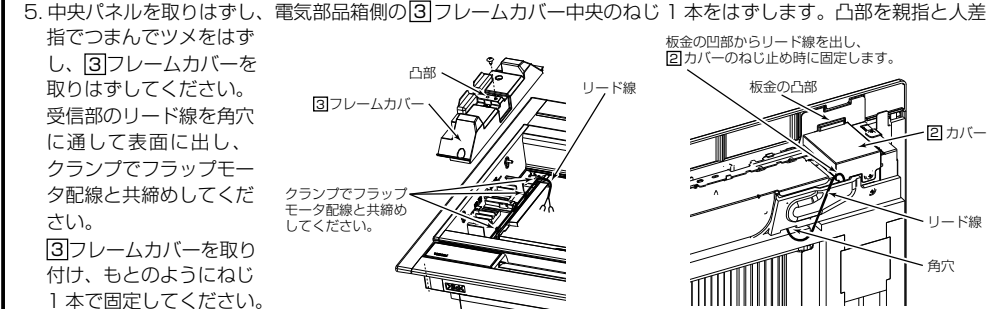
- 天井パネルにキズ・打痕など付けないように段ボール・毛布などを敷いて丁寧に扱ってください。
2. ②カバーをはずした穴からドライバーを入れ、奥にあるねじ1本をはずします。①ベースを両手ではさんでAの方向に少しずらし、Bの方向に回転させて、はずしてください。



3. 受信部のリード線を②カバーをはずした穴に通します。図のように受信部を斜めに傾け、C部の角を付き合わせながら④の矢印の方向に入れ込みます。次にD部を回転させながらE部を引掛けて、天井パネルと水平になったところで両手ではさみFの方向に押し込んでください。
- ①ベースを固定していたねじで受信部を固定してください。



4. 天井パネルの裏面に②カバーを取り付け、リード線を板金の凹部と②カバーの間より引き出したあと（下図参照）に、ねじ1本でもとのように固定してください。（②カバーは板金の凸部にはめ込んで、はずれないように組み込んでください。はめ込まれないと故障の原因となります。）



5. 中央パネルを取りはずし、電気部品箱側の③フレームカバー中央のねじ1本をはずします。凸部を親指と人差指でつまんでツメをはずし、③フレームカバーを取りはずしてください。受信部のリード線を角穴に通して表面に出し、クランプでフラップモータ配線と共締めしてください。
- ③フレームカバーを取り付け、もとのようにねじ1本で固定してください。



6. 室内ユニットを据付説明書に従い据え付けてください。
- ・リード線をはさみこみがないように注意してください。

7. 室内ユニットに天井パネルを取付説明書に従い取り付け、中央パネルと電気部品箱側のエアフィルターを取りはずしてください。

8. ④電気部品箱カバーのねじ2本をはずし、Gの方向に少しずらし、Hの方向に回転させて開いてください。

9. リモコン配線用端子板への固定
- 電気部品箱のリモコン用端子板（A、B）に受信部のリード線をしっかり固定してください。

- 受信部のリード線は室内外接続線を固定しているクランプで共締めしないでください。誤動作の原因となります。
- リード線のはさみこみがないように、確実に固定してください。
- ユニット電源からノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けるなどの処理が必要です。
10. ④電気部品箱カバーを、ねじ2本で固定してもとの状態に取り付けてください。
11. エアフィルターと中央パネルをもとの状態に取り付けてください。
12. 試運転を行い設定内容と正常に運転することを確認してください。
- 試運転については室内ユニット付属の据付説明書「試運転」を参照ください。

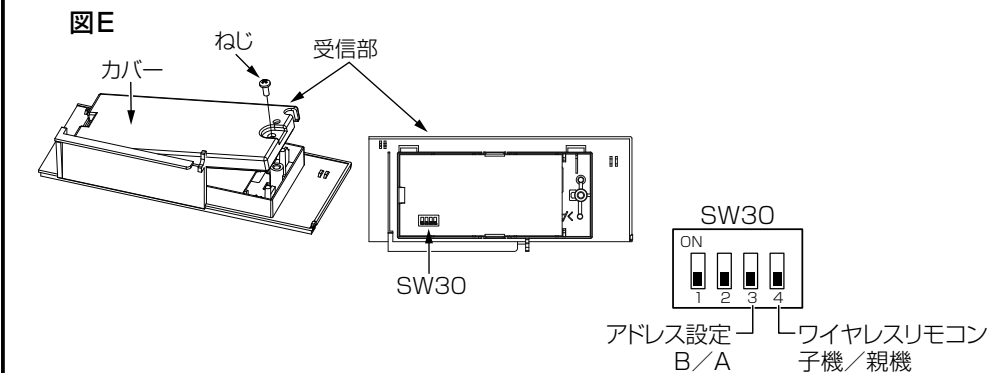
## 試運転（強制冷房運転）

- お願い
- リモコンにて、通常操作で運転確認を行ってください。運転の手順は、付属の取扱説明書に従ってください。室温がサーモOFFするような条件でワイヤレスリモコンが手元のない状況の場合、以下の手順にて強制試運転ができます。強制試運転は、連続運転を防止するため、運転を60分経過すると試運転を解除し、通常運転に戻ります。
- 注）強制試運転は、機器に無理が掛かりますので、試運転以外では使用しないでください。

- 試運転方法
1. 応急運転ボタンを10秒以上押し離すと“ピッ”と音が鳴り、強制冷房運転になります。（30秒以上押すと強制冷房運転になりません。）約3分後冷房運転が強制的に始まります。冷風が出ていることを確認してください。強制冷房運転が開始されない場合は、配線を確認してください。
  2. 止めるときには応急運転ボタンを約1秒間押します。
- 強制冷房運転中に室内機や室外機の配線や配管が問題ないことを確認してください。

## ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定（親／子切替）

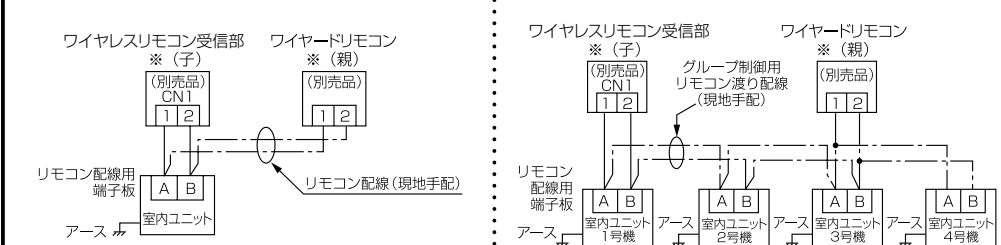
- ワイヤードリモコンと同時設置することにより、1台もしくは複数台のユニットを2個のリモコンで操作することができます。（ワイヤレスリモコン・ワイヤードリモコンを合わせて最大2台まで設置可能です。）
- 2つのリモコンで操作する場合は、「親リモコン」と「子リモコン」の設定が必要です。以下の手順でどちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。
- ワイヤレスリモコンを子リモコンにする場合
1. 電源ブレーカをOFFにします。
  2. 受信部の固定ねじをはずしカバーをはずします。
  3. 受信部基板のディップスイッチSW30の4番をOFF⇒ONにしてください。



- ワイヤードリモコンを子リモコンにする場合
- 変更方法は、ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。
- 〈注〉リモコン親子設定が正しく行われていない場合は、点検コード“E 01”“E 03”または“E 09”が表示されます。
- 基本配線図
- 〈注〉配線A・Bの極性はありません。

## 室内ユニット1台をリモコン2台で操作する場合

- ※どちらのリモコンを親／子リモコンに設定しても動作します。



- 現地配線は0.5mm<sup>2</sup>～2mm<sup>2</sup>を使用します。
- 総配線長は400m以内としてください。

## リモコンのA／B切替設定

- 同じ部屋に複数の受信部が設置されているときは、混信を防ぐためにリモコンのA／B切替を設定することができます。
1. 電源ブレーカをOFFにします。
  2. 受信部の固定ねじをはずし受信部カバーをはずします。
  3. 受信部基板のディップスイッチSW30の3番をOFF⇒ONにします。（図E）
- ※この設定内容はワイヤレスリモコン受信部側の設定でありワイヤレスリモコンのA／B設定変更を行わないと操作が出来ませんので、ワイヤレスリモコンの取扱説明書をご覧ください。

## 自己診断機能表と処置方法

表示ランプ	原因	処置方法
準備中 タイマー 運転 ● ● ● リモコンを操作しても全く表示がない	電源が入っていない 受信部と室内ユニット間の誤配線	結線を見直して、正しく結線してください。
準備中 タイマー 運転 ● ● ● 点滅	受信部と室内ユニット間配線の接触不良	
準備中 タイマー 運転 ● ● ● 点滅	室内外ユニット間の誤配線または接触不良	

受信部の表示ランプ ●：消灯 ☀：点滅（0.5秒間隔） 表示ランプの色 運転：緑 タイマー：緑 準備中：橙

## お客様への説明

- ワイヤレスリモコン「取扱説明書」、ワイヤレスリモコン受信部「取扱説明書」「取付説明書」は工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してから、お客様にお渡しください。
- ワイヤレスリモコン「取扱説明書」、ワイヤレスリモコン受信部「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法とお手入れのしかたを説明してください。